

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	移住・定住促進室
	施策	移住・交流の促進		電話番号	087-839-2143
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業	移住・定住促進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市への移住・定住人口の増加を図るため、市民や企業・団体等からなる「たかまつ移住応援隊」との連携による情報発信や相談対応などを始め、本市の特性や強みである「生活のしやすさ」、「起業・就業（仕事）のしやすさ」、「子育てのしやすさ」を生かした各種の移住・定住促進の取組を推進する。				
年度概要	香川県移住・定住推進協議会としての各種取組 移住促進家賃等補助事業の実施 東京圏UJイターン移住補助金 瀬戸・たかまつキャリアサポートセンター 移住促進プロモーションの強化に関する取組				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


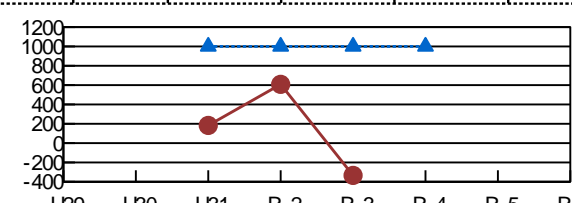

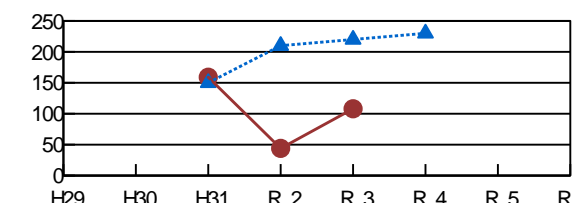
【事業の目的】

対象（何を）	市外に居住しており、地方への移住を考えている人
意図（どのような状態にしたいか）	地方への移住を考えている人に対し、本市の魅力を効果的に発信することなどにより、本市への移住を促進し、人口減少の抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
移住・交流イベント実施回数	回	9	7	10	9	9
移住ナビ新規情報発信回数	回	29	11	33	40	40

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
年間社会増（1月～12月）	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	183	608	-334		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和3年の社会動態は、平成19年以來の社会減に転じ、目標を達成することができなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 0.0%
							0点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
本市主催の移住・定住促進のためのイベント等への参加者数	人	目標値	150	210	220	230	230
		実績値	159	44	108		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、前年度以上にイベントを開催することができ、前年度比で2倍以上の参加があったが、目標には達しなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 49.1%
							17点

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）
トータルコスト	[円]	36,971	48,065	42,156	61,865
（事業費）	[円]	21,036	32,353	24,791	44,500
（職員人件費）	[円]	15,935	15,712	17,365	17,365

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ウィズコロナの状況において、移住・定住促進のイベント等は、オンラインで開催したが、活発な意見交換ができないなど、課題もあるため、今後、実施内容・手法等を検討する必要がある。
また、東京一極集中のペースは鈍化しているが、東京都からの転出先の多くは周辺の県であり、転職なき移住や二地域居住の促進、関係人口の拡大など、本市への新たな人の流れの創出に取り組むとともに、移住後のニーズを把握するなど、移住者の定住促進を図る必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

大都市圏に居住する大学生・子育て世代などのUJイターン促進や、市内の若者の流出対策に効果的に取り組むために、県外から本市、本市から県外への人の流れの状況の分析や、これまでの移住・定住促進の取組を検証し、今後の取組の方向性を明確にする。
また、香川県移住・定住推進協議会や、経済団体、連携中枢都市圏構成市町等と連携し、社会情勢を踏まえた新たな取組を検討する。

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	地域振興課
	施策	移住・交流の促進		電話番号	087-839-2278
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業	地域おこし協力隊活動事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の中でも、特に人口減少により地域力が低下している山間部や島しょ部において、地域力の維持及び強化並びに地域の活性化に資するため、都市地域等からの人材を積極的に誘致し、「地域おこし協力隊」を配置する。			
年度概要				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象(何を)	山間部や島しょ部など、人口減少により地域力が低下している地域
意図(どのような状態にしたいか)	対象地域において、県外から採用した地域おこし協力隊の隊員を配置し、地域協力活動に従事させることにより、地域力の維持・向上を図る

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
隊員の活動地域数	地域	4	4	3	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	隊員と地域コミュニティ協議会との連携により実施した事業数	事業	目標値	5	4	3	0	0
	実績値	5	4	3				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点
	令和3年度は塩江・女木地区隊員の方が3年の任期を満了し定住、起業した。ほかの隊員1名につきましても、当初の計画通り活動を行うことができた。							
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	27,833	24,203	17,157	0
(事業費)	[円]	23,280	19,714	12,627	0
(職員人件費)	[円]	4,553	4,489	4,530	0

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

移住・定住促進方策等も活用しながら、隊員を始めとする新たな人材を地域コミュニティの一員として確保し、地域の活性化に取り組んでいく。

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	政策課
	施策	移住・交流の促進		電話番号	087-389-2135
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業	政策コンテスト開催事業		事業期間	平成 29年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の将来を支える若者のアイデアを本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元への定着につなげるため、出場者の理想とするまちづくりを予算まで含めた政策として考える政策コンテストを開催する。				
年度概要	政策コンテスト開催 提案内容を踏まえた対応				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	チーム代表は瀬戸・高松広域連携中枢都市圏に在住、又は勤務・通学している者、チームメンバーは中学生から39歳以下の者。
意図(どのような状態にしたいか)	本市が将来も若者から選ばれるまちであるために、将来を支える若者のアイデアを、本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元に着定させることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
政策コンテスト参加チーム数	チーム	9	0	0	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	アンケート結果による愛着が高まったとする割合	%	目標値	95	95	95	95	95
			実績値	91.7	0	0		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、政策コンテストを中止したため、政策コンテスト参加者に対するアンケートを実施できなかったことから、目標を達成することができなかった。 (目標達成度)							(達成度) 0.0%
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	8,829	2,993	3,775	7,675
(事業費)	[千円]	2,000		0	3,900
(職員人件費)	[千円]	6,829	2,993	3,775	3,775

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新型コロナウイルス感染症の影響により、フィールドワークや参加者間での協議など、これまで対面で実施してきたものが、実施できない状況となったため、令和3年度はコンテストの開催を中止し、ウィズコロナの状況においても実施できるよう、新たな開催の手法の検討が必要である。
また、過去の政策提案をその後の事業化につなげるため、新たな事業スキームを検討する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

委託事業者と連携し、ウィズコロナの状況においてもコンテストが実施できるよう、デジタル技術の活用によるバーチャルでのフィールドワークや参加者間での協議など、新たな手法を積極的に取り入れていく。
また、提案された政策アイデアが本市の既存事業や新規事業に反映されるよう、政策立案の段階から提案分野の関係課と連携し、提案内容を取りまとめる体制を構築する。

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	移住・定住促進室
	施策	移住・交流の促進		電話番号	087-839-2143
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業	生涯活躍のまちづくり推進事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	中高年齢者の希望に応じた暮らしの実現や地域住民の多世代交流を促進するため、移住者を含めた地域住民が主体となり本市の特性や強みを生かした地域づくりを目指す、「生涯活躍のまち」の理念を反映したまちづくりを推進する。			
年度概要	高松版生涯活躍のまち構想の周知・啓発			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)


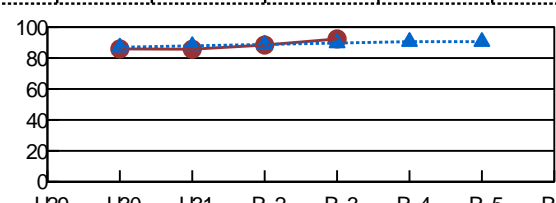

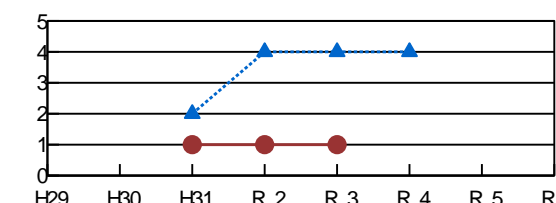
【事業の目的】

対象(何を)	50・60歳代の移住者を含むアクティブシニア及び地域コミュニティ協議会
意図(どのような状態にしたいか)	平成30年度に策定した「高松版生涯活躍のまち構想」に基づき、地域コミュニティ協議会を軸として、移住者を含むアクティブシニアが、地域に溶け込み、多世代の地域住民との交流を行いながら、自らの経験やスキルをいかして生涯健康で生きがいを持って活躍することができる地域づくりを目指す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
ワークショップ開催回数	回	7	9	0	0	0
生涯活躍のまちづくりに取り組むコミュニティ協議会数	地区	2	4	5	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
成果指標	50代及び60代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度	%	目標値	87.9	88.8	89.7	90.6	90.6
	実績値	85.7	88.4	92.3				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和3年度市民満足度調査において、本市が「住みよい」「まあまあ住みよい」と答えたシニア世代の割合は92.37%と、目標値を上回った。 		(目標達成度)					(達成度) 103.0%
	35点							
成果指標	コミュニティプランに生涯活躍のまちの考え方を盛り込んだコミ協の数	地区	目標値	2	4	4	4	4
	実績値	1	1	1				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップの成果報告ができず、高松版生涯活躍のまち構想の周知・啓発が年度末とできなかったこともあり、目標を達成できなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 25.0%
	8点							

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	12,245	6,041	3,020	3,020
(事業費)	[千円]	104	55		
(職員人件費)	[千円]	12,141	5,986	3,020	3,020

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

全ての地域コミュニティ協議会に対し、生涯活躍のまちづくりワークショップを行った4地域の取組を報告し、啓発を行った。しかしながら、コミュニティプランに「高松版生涯活躍のまち構想」の考え方を取り入れる地域は増加していないため、今後、啓発の方法を検討する必要がある。
また、全国的に、民間事業者によるアクティブシニアの活躍の場づくりの事例が増えてきており、本市においても、今後の官民連携による取組を検討する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域コミュニティについては、多くの地域が関心を持ち、横展開につながるような新たなモデル事業の展開を検討する。また、民間事業者と連携を図りながら、趣味等によりアクティブシニアがつながり、元気で活躍できるよう、新たな取組を検討する。